

2015年3月期 第2四半期決算説明会

2014年 10月31日



日本ガイシ株式会社

NGK INSULATORS, LTD.

- 2015年3月期 第2四半期連結決算概要
- 2015年3月期 連結業績見通し
- セグメント別業績見通し
- 新製品売上高比率の目標
- 研究開発 設備投資
- 財務状況

	(億円)	14年3月期	15年3月期	前年同期比
売上高		1,418	1,680 <small>1,600→1,650</small>	+19%
営業利益		197	288 <small>220→275</small>	+46%
経常利益		196	269 <small>210→265</small>	+37%
四半期純利益		126	201 <small>145→185</small>	+59%

5月公表値⇒7月公表値

前年同期比 増収増益

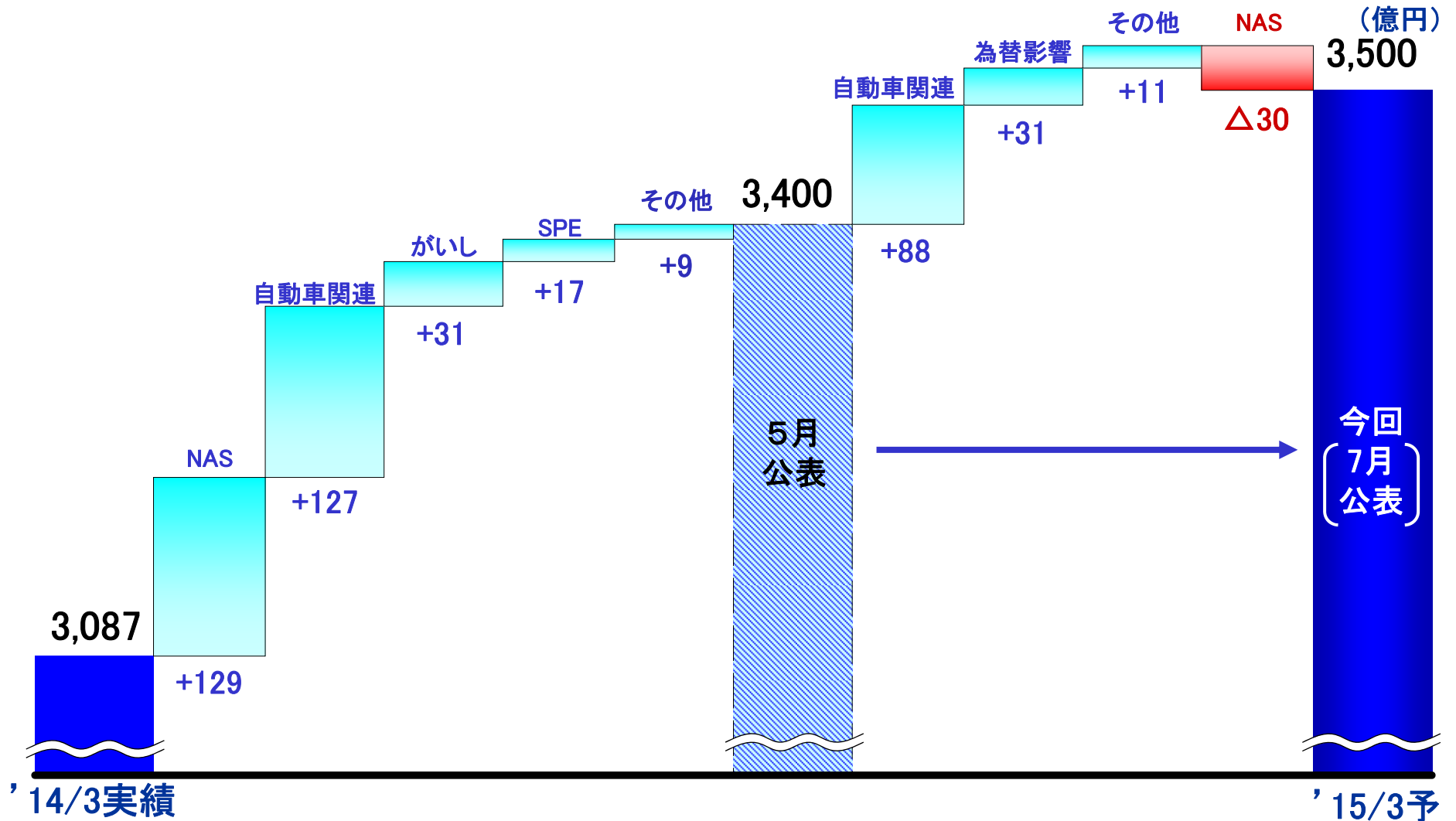
- セラミックス 欧州市場のディーゼル乗用車や日本・米国市場のトラック販売が堅調に推移し自動車関連製品の需要が増加
- エレクトロニクス 半導体メーカーの設備投資が堅調に推移し需要増
- 電力関連 NAS電池火災事故後、初の国内受注案件を出荷

	(億円)	14年3月期	15年3月期	前期比
売上高		3,087	3,400→3,500 3,500	+13%
営業利益		443	480→560 560	+27%
経常利益		458	500→580 580	+27%
当期純利益		270	340→390 390	+44%

5月公表値⇒7月公表値

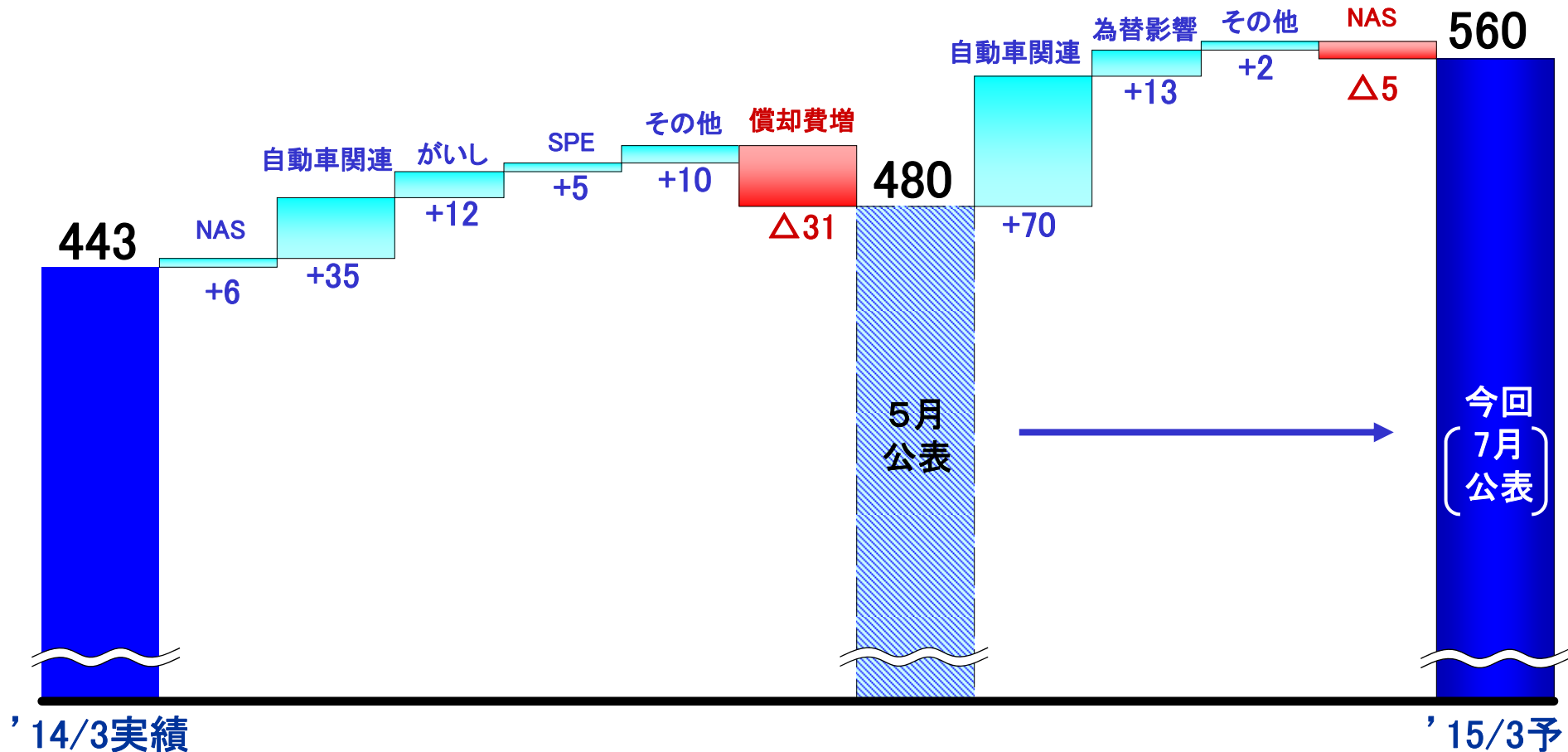
前期比 増収増益の見通し

- セラミックス
 自動車関連製品は中国のトラック向け排ガス規制適用の厳格化も寄与し堅調に推移する見通し
- 電力関連
 下期にNAS電池の海外大口案件を出荷予定(一部翌期へ繰延べ)
- 為替前提
 下期 ドル100円、ユーロ135円



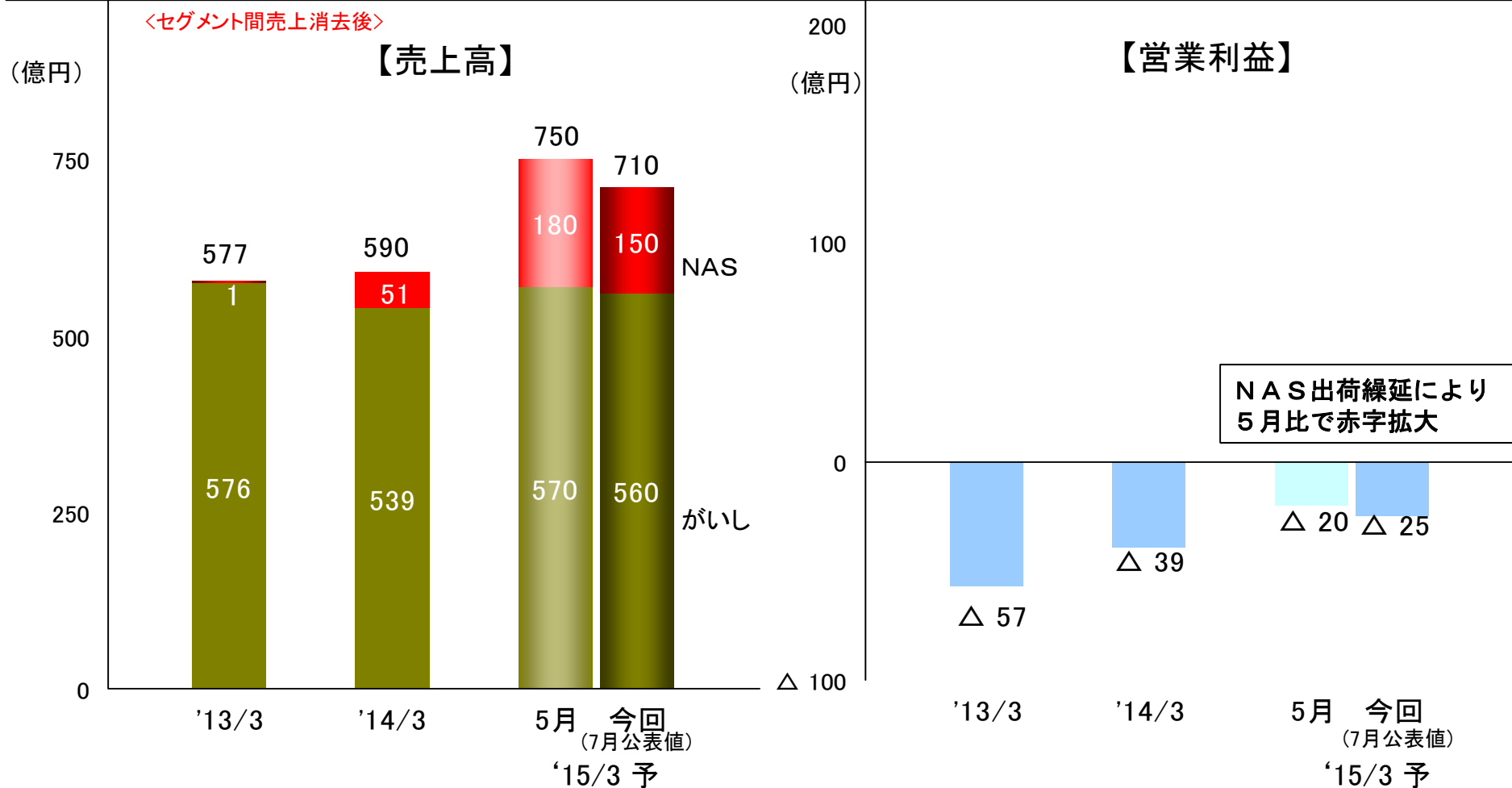
	前期 ('14/3)	5月公表 ('15/3)	今回 ('15/3)
為替レート	100円 /US\$ 134円 /ER	100円 /US\$ 135円 /ER	102円 /US\$ 137円 /ER

(億円)

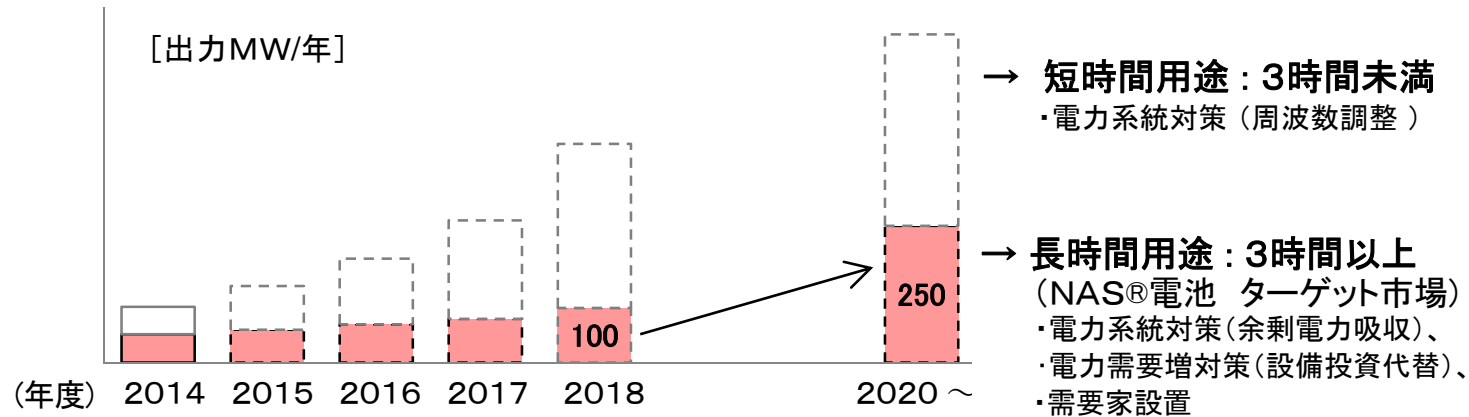


	前期('14/3)	5月公表('15/3)	今回('15/3)
為替レート	100円 /US\$ 134円 /ER	100円 /US\$ 135円 /ER	102円 /US\$ 137円 /ER

- がいし
 - ・国内は電力会社の設備投資抑制が継続
取替需要の取り込みと更なるコストダウンにより収益改善を図る
 - ・海外は東南アジア・中近東など引き続き堅調
- NAS
 - ・下期に予定していた海外大口案件の一部出荷が翌期へずれ込む見通し



■大型蓄電池の世界市場規模想定〔当社推定〕



需要の立ち上がりには時間を要する

■課題

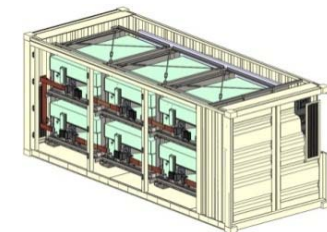
- ① 継続的な受注確保
 - ・客先提案力の強化、技術営業の拡充
- ② 徹底的なコストダウンによる優位性の確立
 - ・合理化（自動化、工程改善）による省人化や原価低減
 - ・コンテナ型パッケージの投入による設計、工事標準化

安定的に採算を確保できる事業構造を実現する

〈従来型 NAS®電池〉

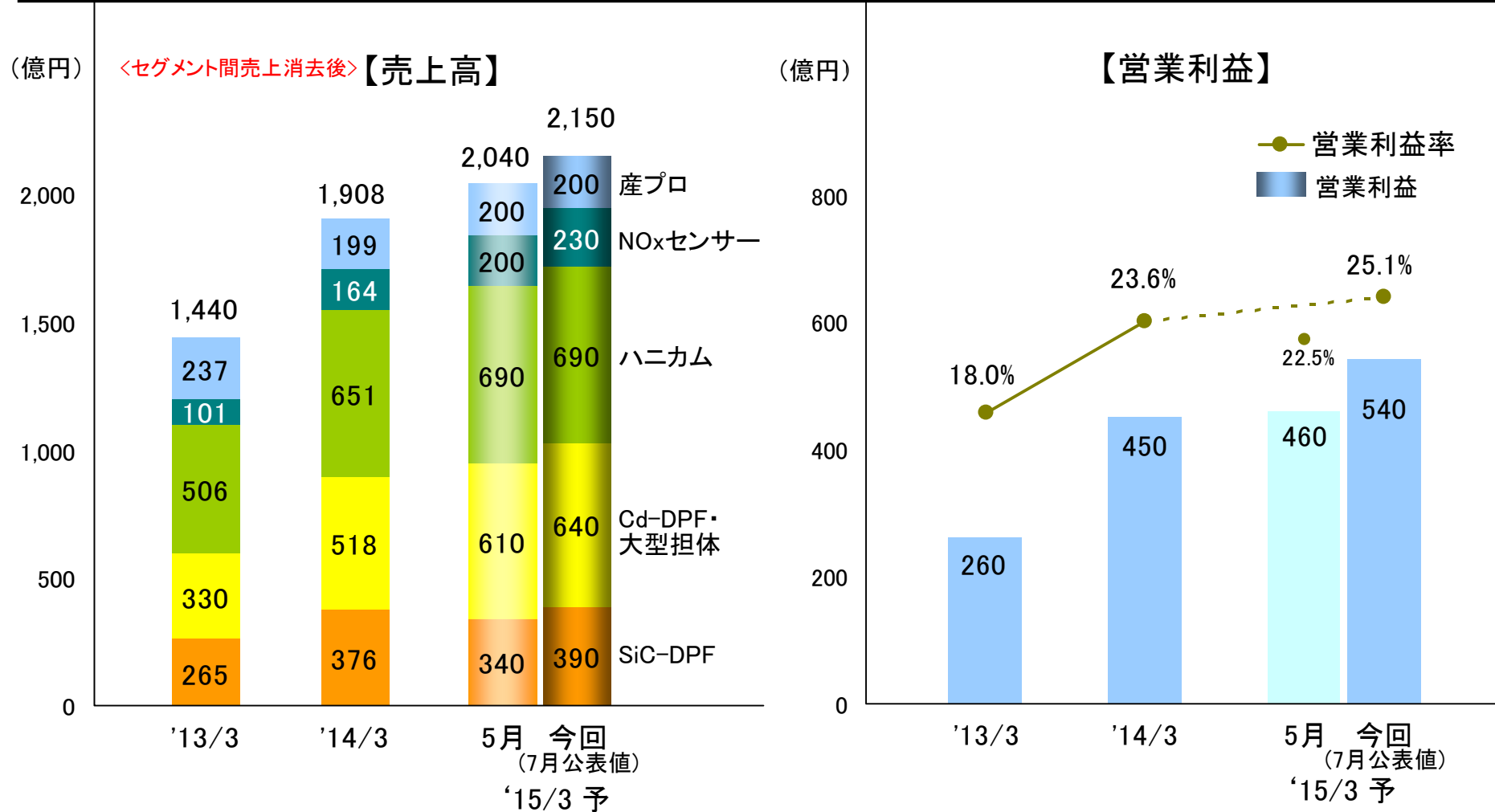


〈コンテナ型 NAS®電池〉

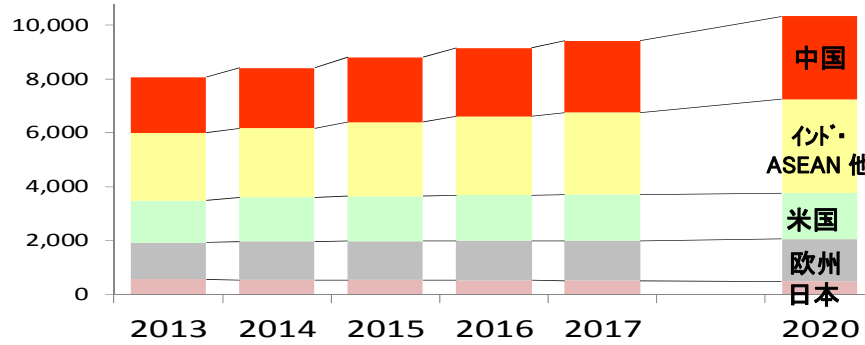


（2016年3月期中に実用化）

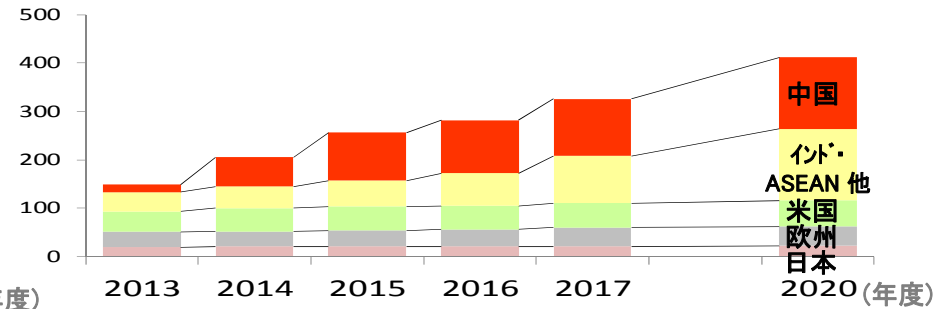
- 自動車関連 欧州市場のディーゼル乗用車や日本・米国市場のトラック販売が堅調に推移
ディーゼル関連製品、NOxセンサーの需要が拡大
- 産業プロセス 国内の設備投資は回復の兆しが見られるものの、依然として低調
事業再構築によりスリム化・コストダウンを図る



■乗用車販売台数推移 (万台)

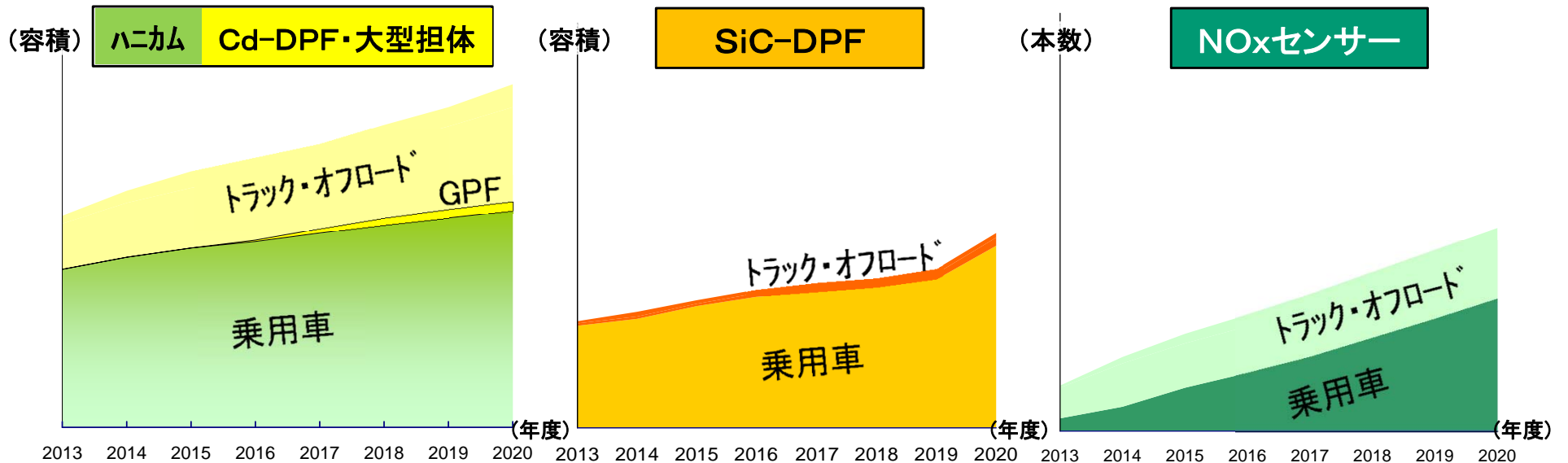


■トラック後処理対象台数推移(万台)



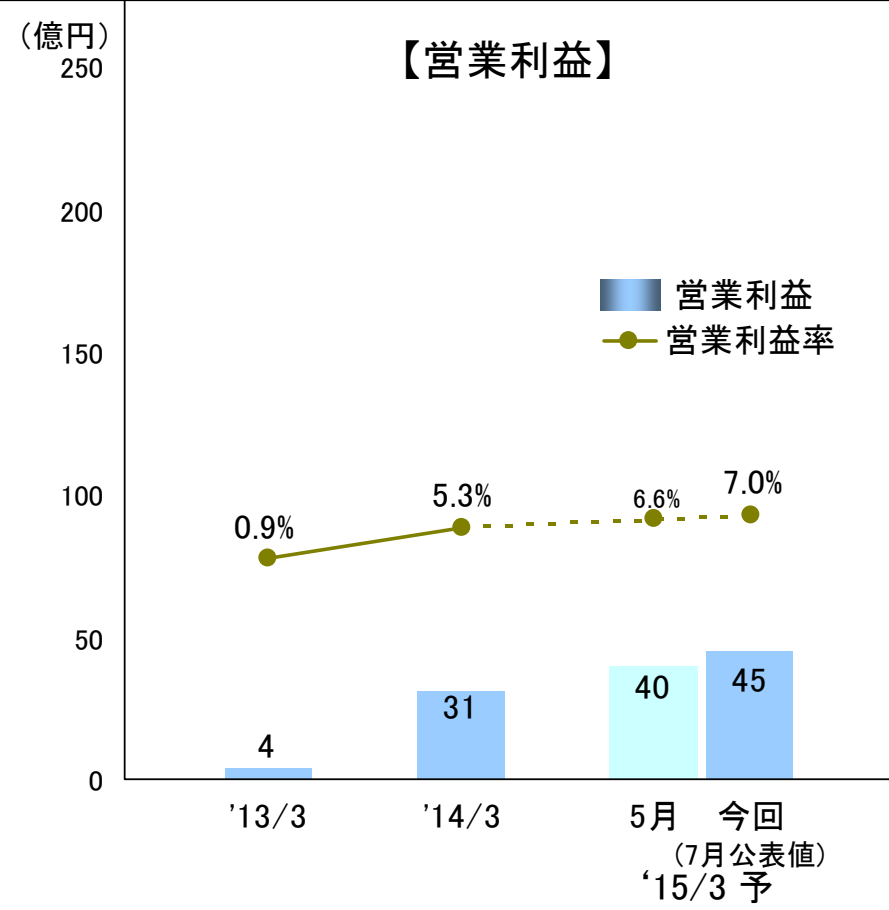
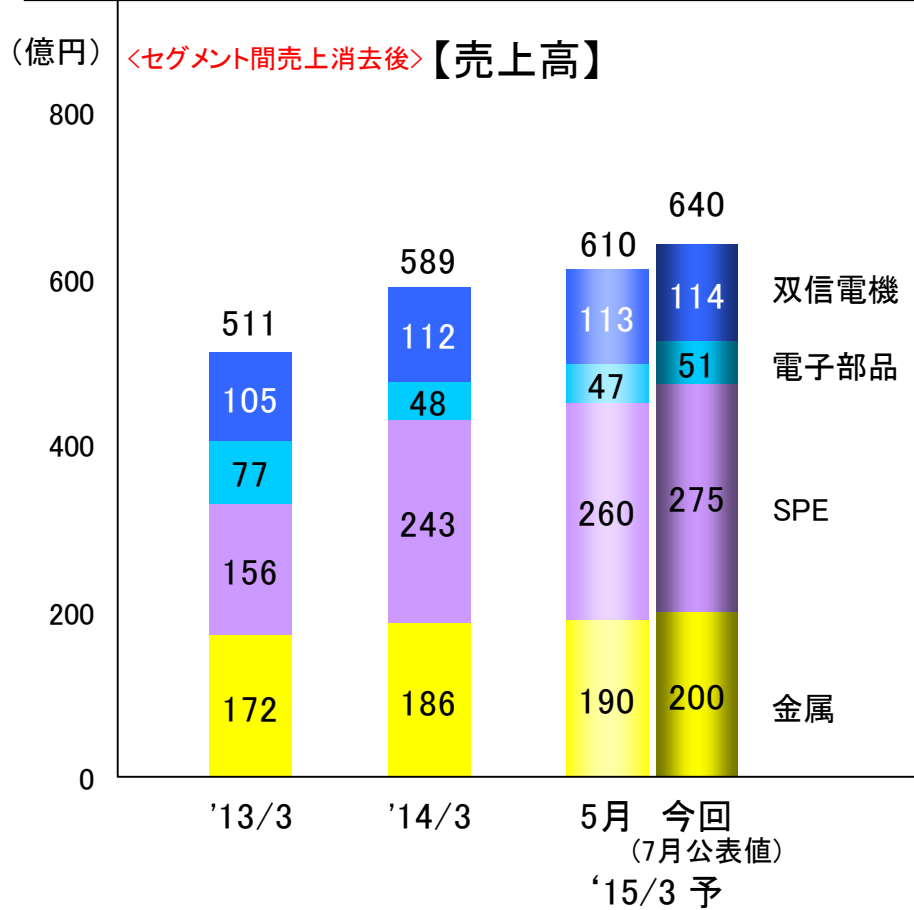
新興国： 乗用車販売台数・トラック後処理対象台数が増加
先進国： オフロード向けの排ガス規制強化が進む

■製品総需要見通し



中長期にディーゼル関連製品 (Cd-DPF・大型担体、SiC-DPF) やNOxセンサーの需要が拡大
欧州直噴ガソリン車向けGPF (2017~本格化)

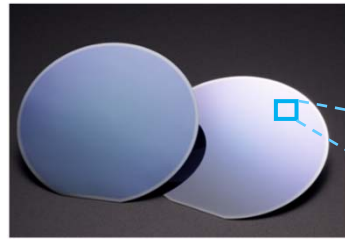
- 半導体製造装置用セラミックス(SPE)
 - ・モバイル製品市場の拡大を背景に半導体メーカーの設備投資が継続
 - ・製品の高性能化とコストダウンに注力
- ベリリウム銅展伸材(金属)
 - ・中国市場において家電、産業機器関連向けなどの需要が堅調に推移
- 電子部品
 - ・ウエハー事業の拡大やM&Aによるセラミックパッケージ製品を加えた事業成長



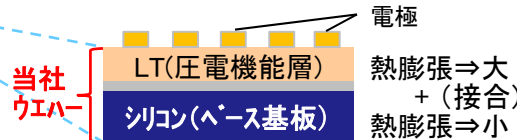
事業化

ウエハー事業の拡大

SAWフィルター用複合ウエハー



熱膨張の大きい圧電単結晶に
熱膨張の小さいシリコンを接合することで
SAWフィルターの温度特性を大幅に改善



受注・生産は堅調に推移

次の事業化製品

透光性アルミナウエハー (ハイセラム™ウエハー)



【既存品に対する優位性】

- ・ 大口径化対応
- ・ 高加工性

アルミナ基板やサファイア基板の
代替用途を狙う

【最終製品例】

- ・ 高周波デバイス

窒化ガリウム (GaN)ウエハー



【既存品に対する優位性】

- ・ 低欠陥
- ・ 高透明度

【最終製品例】

- ・ 超高輝度LED
- ・ パワーデバイス

M&A

日鉄住金エレクトロデバイス社を子会社化



資本金 : 34億5,000万円

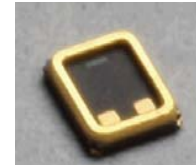
製造拠点 : 本社(山口県)、マレーシア、中国

業績 : 連結売上高 245億円(2014年3月期)

株式譲受実施 2015年1月5日(予定)

水晶デバイス用 パッケージ

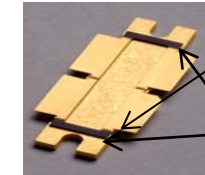
水晶デバイス保護用
セラミックパッケージ



〈主要製品〉

RFパッケージ

携帯通信基地局向け
高周波パワーアンプ用パッケージ



CPC材
(高放熱金属)
セラミック

日鉄住金エレクトロデバイス
多品種・量産技術

日本ガイシ
材料技術・高精度生産技術

シナジー効果

成長分野で収益拡大を図る

超小型
水晶パッケージ

CMOS
イメージセンサー用
パッケージ

光通信
デバイス用
パッケージ

強い事業をより強く 中長期的な視点での競争力の強化

- ・ 需要拡大に対応したグローバル生産体制の構築
- ・ ”新・ものづくり構造革新” の全社推進

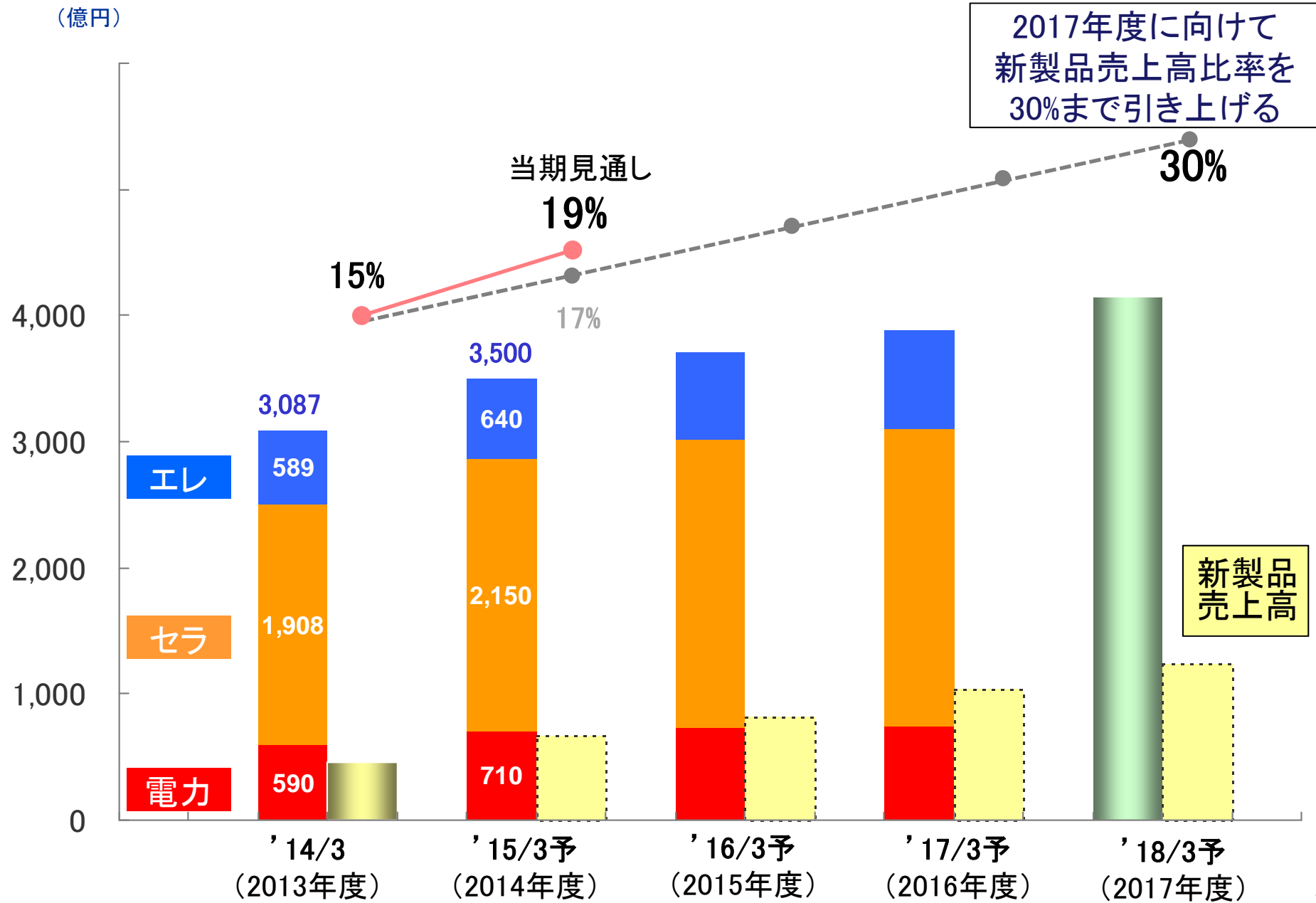
各事業の将来の「ありたい姿」を設定し
これを実現するためのものづくりのやり方を検討
従来の殻を打ち破った発想での取り組み

圧倒的な競争力のある”ものづくり体制”の構築を目指す

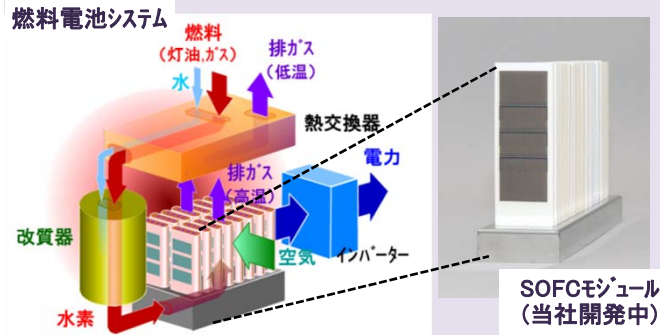
新製品・新規事業の創出 — 2017 Challenge 30

- ・ ウエハー事業の拡大
- ・ 有望な新製品の早期市場投入
- ・ 探索事業領域の絞り込みと開発テーマの拡大

(億円)



セラミック製燃料電池モジュール (固体酸化物形燃料電池(SOFC)モジュール)



- ・独自構造を持つ筒状平板 分割電極形の高効率・高耐久セラミック製発電部品

家庭や集合住宅・商業施設等においてガスを燃料として化学反応で電気を作り、発生する熱でお湯も作ることから省エネ効果大

スマートハウス(家庭用燃料電池)



- ・大手燃料電池メーカーで評価中

サブナノセラミック膜(DDR膜)



- ・分子サイズの「ふるいの目」を持つ独自の大型セラミック分離膜

天然ガス・バイオガス中の不純物CO₂や、酢酸・フェノール等への混入水分を分子サイズの違いで分離・除去できるため、省エネかつ分離設備のコスト低減が可能

化学プラント(脱水)



- ・オンサイト実証試験を開始

チップ型セラミックス二次電池



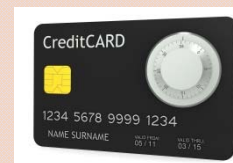
- ・独自の結晶配向技術を用いた超薄型、高エネルギー密度で高温動作可能な全固体電池

回路基板上の半導体部品との隣接実装を実現し、電子デバイスの薄型化に寄与

ウェアラブルデバイス



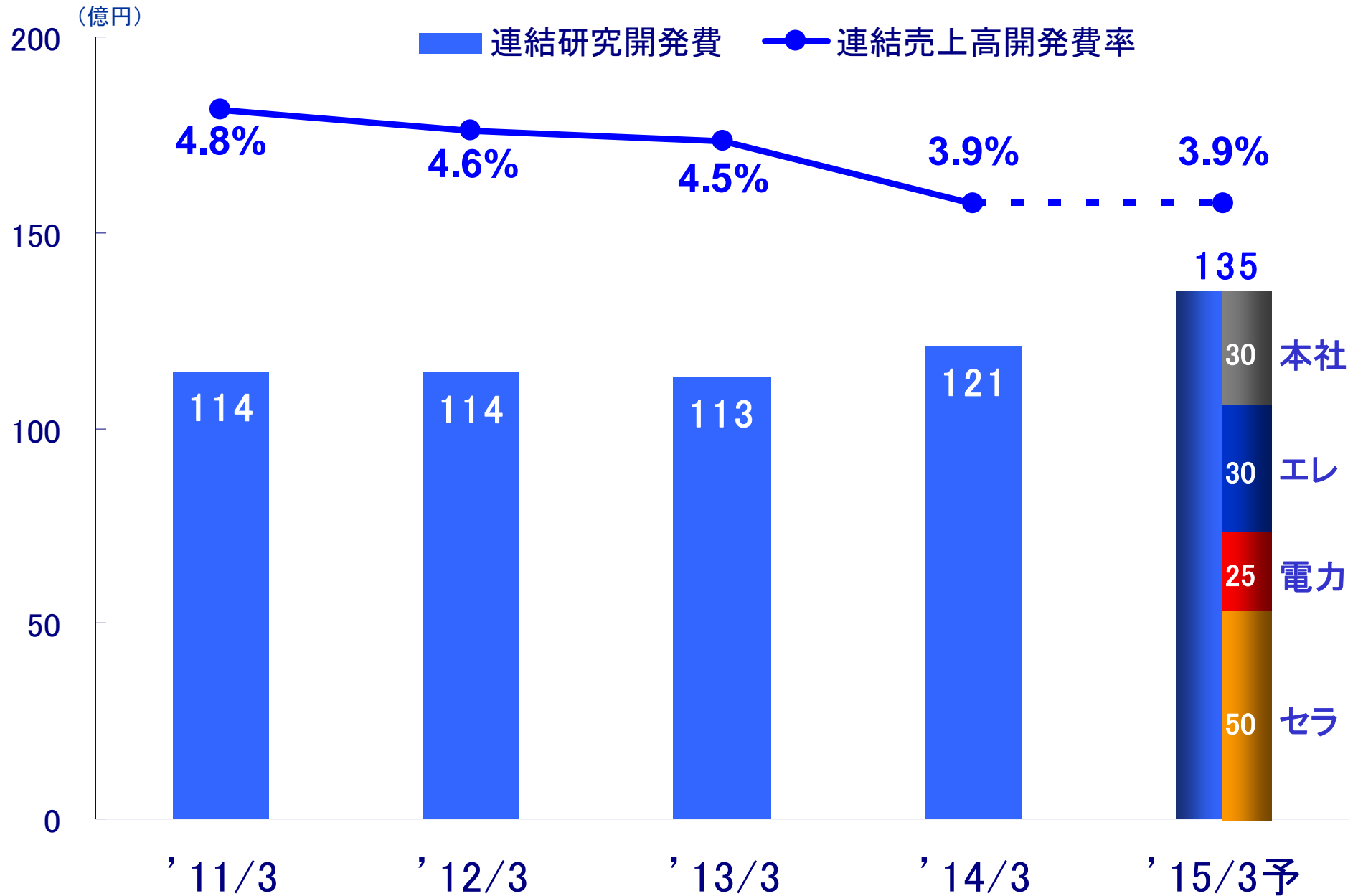
スマートカード



メモリーバックアップ電源



- ・2014年度中にサンプル供試予定



欧州
追加投資の検討

()内は生産開始年
赤字は設備投資中

ポーランド NOxセンサー組立設備増設 (2015年)
生産能力：700万本⇒1,000万本 (日本、ポーランド 合計)
大型担体, Cd-DPF, GPF生産設備増設 (2016年)
生産能力：800万個⇒1,500万個 (ハニカム換算)



アメリカ



ハニカム生産設備増設 (2014年)

中国



ハニカム, 大型担体, Cd-DPF
生産設備増設 (2012年)

日本



● **ハニカムの最新鋭ラインを導入** (2015年)
生産能力：800万個⇒1,300万個
NOxセンサー生産設備増設 (2015年)
生産能力：700万本⇒1,000万本
(日本、ポーランド 合計)

メキシコ



大型担体, Cd-DPF
生産設備増設 (2013年)

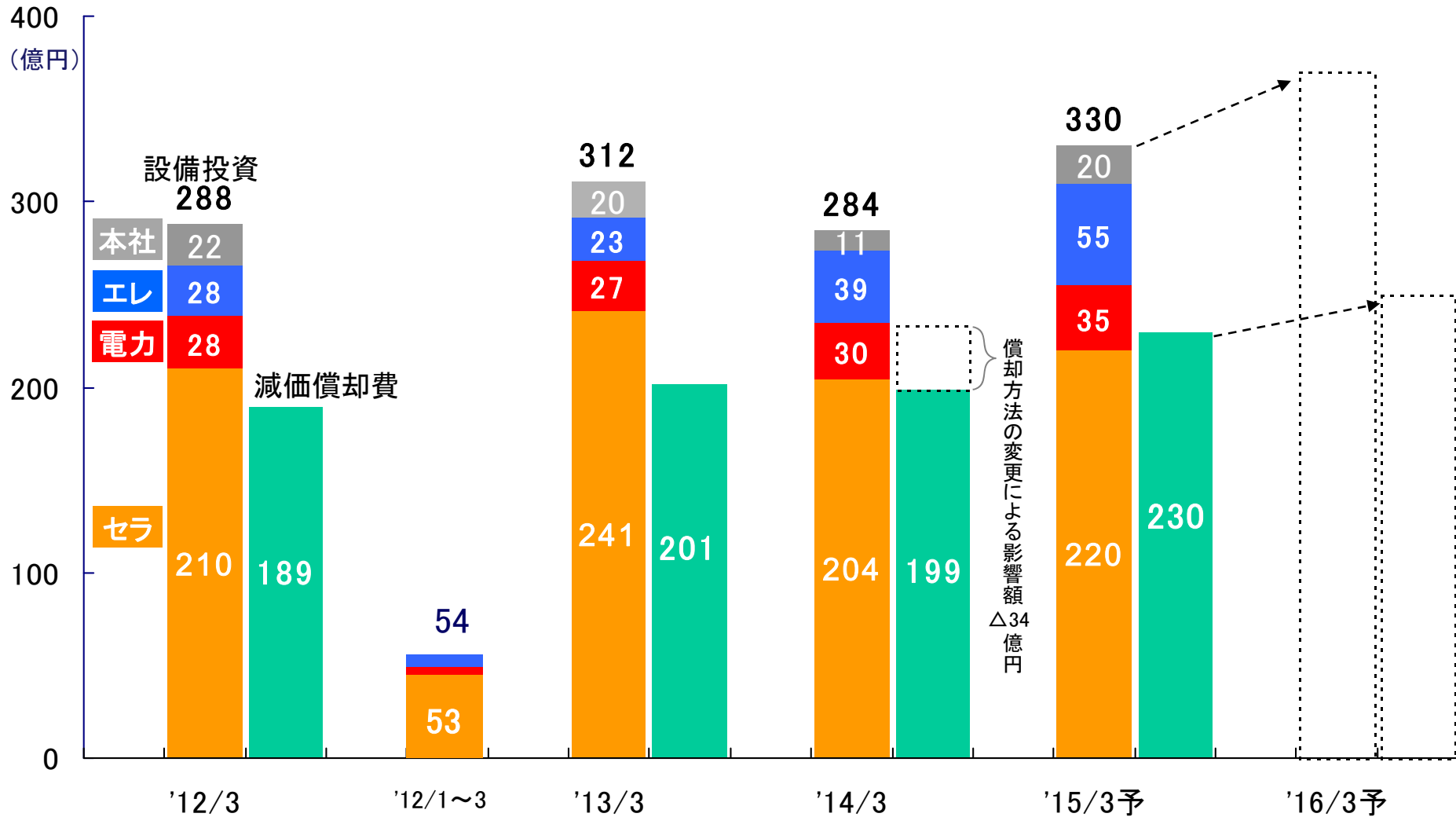
インドネシア



ハニカム, 大型担体
生産設備増設 (2013年)

東南アジア
新拠点の検討

自動車関連を中心に、グローバルに生産体制を強化
国内で最新鋭の生産ラインを開発・導入し、海外拠点へ展開

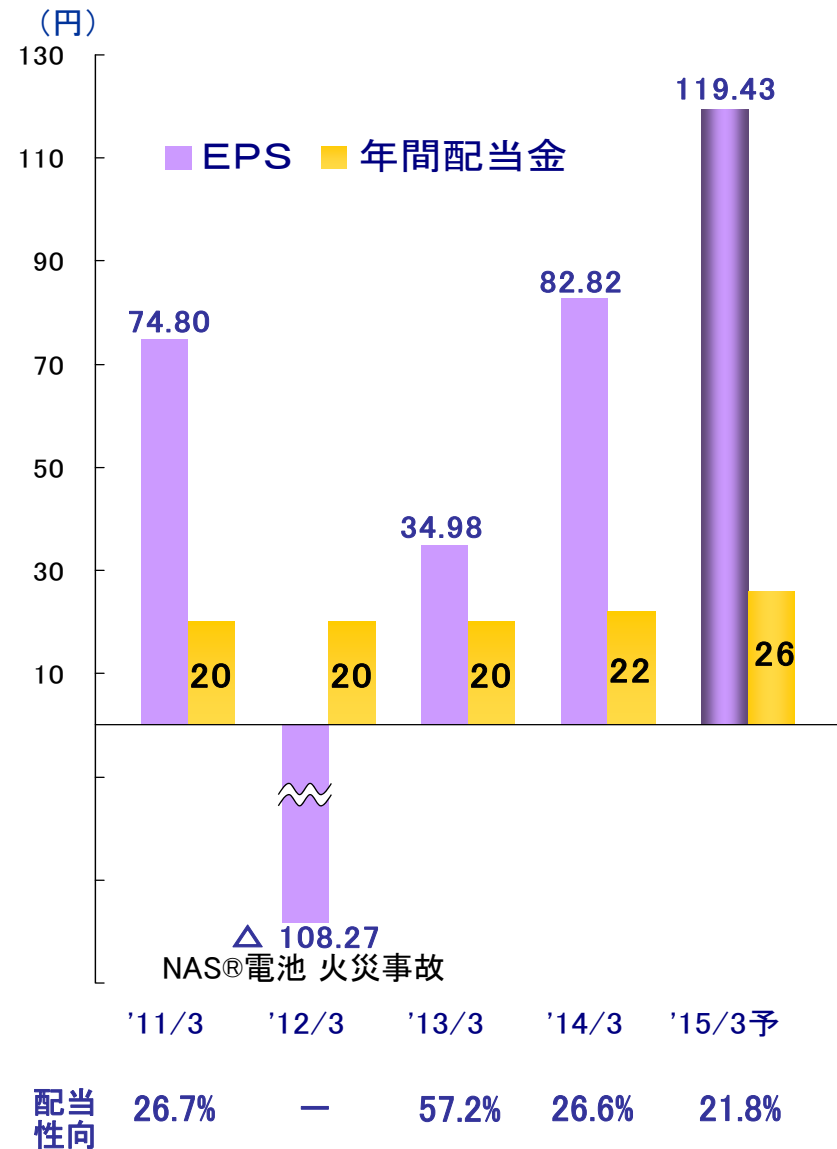
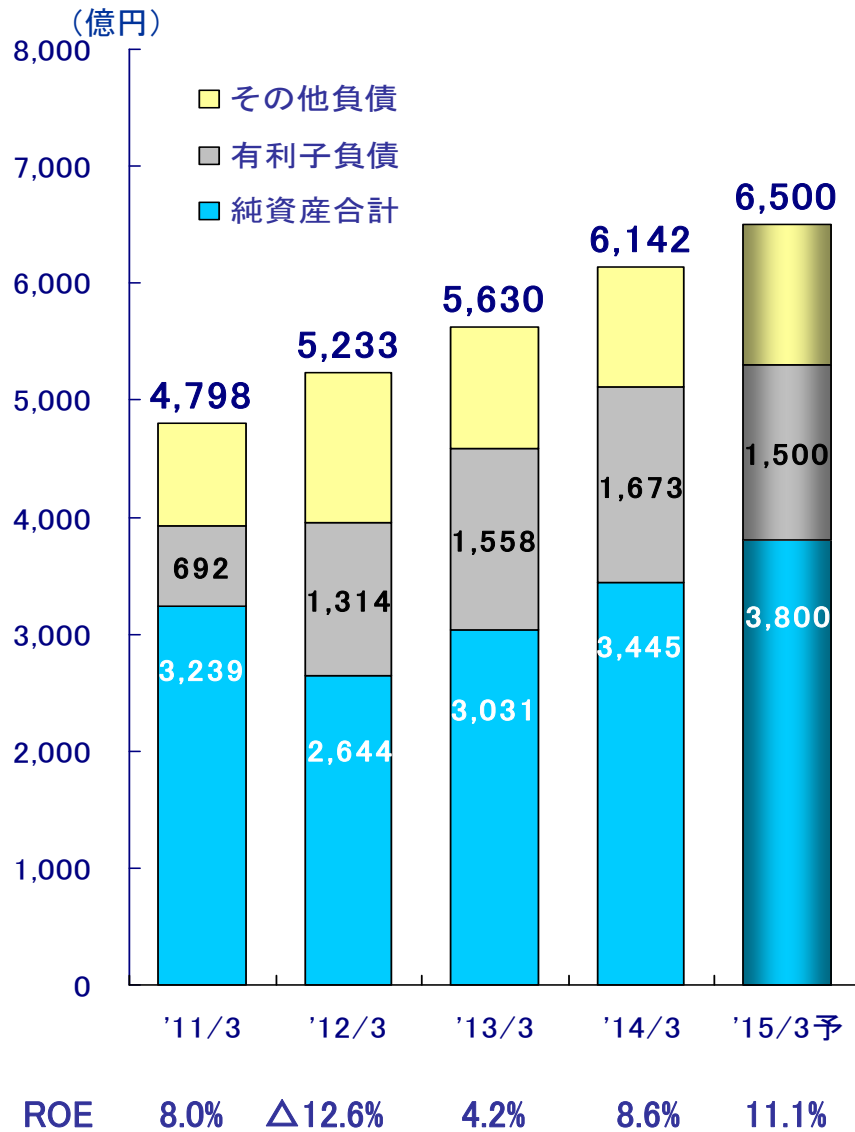


決算期統一に伴う
移行期間の
海外設備投資

自動車関連を中心に、当期以降も
300億円超の設備投資が継続する見込み

(億円)

	'13/3	'14/3	'15/3予
営業活動によるキャッシュ・フロー	37	327	620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6	△212	△400
財務活動によるキャッシュ・フロー	124	20	△250
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	34	-
現金及び現金同等物の増減額	184	169	△30
海外グループ会社決算期移行期間 ('12 / 1 ~ 3) の増減額	△7	-	-
現金及び現金同等物期末残高	1,028	1,198	1,168



<セグメント間売上消去後>

(億円)

	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期(予)
が い し	549	576	539	560
N A S	9	1	51	150
電力関連合計	558	577	590	710
ハ ニ カ ム	463	506	651	690
S i C - D P F	302	265	376	390
C d - D P F ・ 大型担体	248	330	518	640
N O x セ ン サ ー	82	101	164	230
産業プロセス	242	237	199	200
セラミックス合計	1,338	1,440	1,908	2,150
金 属	184	172	186	200
半導体製造装置セラミックス	165	156	243	275
電 子 部 品	121	77	48	51
双 信 電 機	112	105	112	114
エレクトロニクス合計	582	511	589	640
全 社 合 計	2,478	2,528	3,087	3,500

<セグメント間売上消去後>

(億円)

	14年3月期		15年3月期(予)	
	上期	下期	上期	下期
が い し	268	271	267	293
N A S	0	51	15	135
電力関連合計	268	322	282	428
ハ ニ カ ム	315	336	351	339
S i C - D P F	169	207	204	186
C d - D P F ・ 大型担体	237	281	320	320
N O x セ ン サ ー	72	92	114	116
産 業 プ ロ セ ス	79	119	77	123
セラミックス合計	873	1,035	1,066	1,084
金 属	91	95	107	93
半導体製造装置セラミックス	104	139	144	131
電 子 部 品	28	20	24	27
双 信 電 機	55	57	58	56
エレクトロニクス合計	277	312	333	307
全 社 合 計	1,418	1,669	1,680	1,820

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。



日本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7212 Fax. (052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>